

居酒屋探訪の記事が人気の太田和彦氏の一冊「宇和島の鯛めしは生卵入りだった」はお読みになっただろうか。そのタイトルが暗示するように巻頭の記事は四国の宇和島からスタートする。

2015年9月16日、17日。

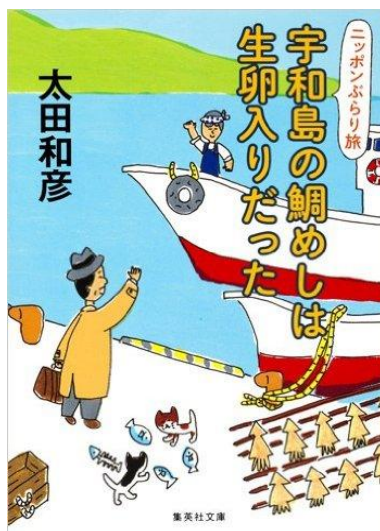
9月のシルバー・ウィークに入る前の週に、3日ほど休業して女房の実家のある松山に帰省。最後の日を宇和島で過ごしたのだが、夜と次の朝はこの本の通りに3軒ハシゴした。

正確に言うと2軒+だが。

そば屋の「菊屋」で名物の「宇和島ちゃんぽん」を食べようと計画していた。木曜日が定休日なので水曜日の今日は営業していると確信して店の前へ。

もうすぐ昼なのにシャッターが下りている？なんだ？

結局、月に1度水曜日に臨時休業して連休にするらしいことが判明。すごすご。



涙の臨時休業「菊屋」

港に隣接した「きさいや広場」の食堂

ここには宇和島の有名料理屋が集結している。「ほずみ亭」もある。創業50年の「かどや」のちゃんぽんも美味かった。「菊屋」はもっと美味しいのか？



「かどや」のちゃんぽん

「ほずみ亭」



揚げたてじゃこ天



うつぼの唐揚げ





海鮮サラダ



サバ刺し (宇和島では鯖は生で食べる)



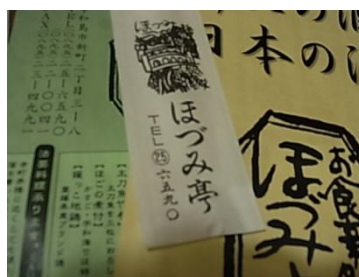
しまアジ刺し



小エビかき揚げ



喰った・・・。美味かった。



翌日昼間の「ほづみ亭」

「やまこうどん」朝6時に起きて食べに行きました。



のれんもなんもない。店名もない。 店内。左奥に地元の常連客が3名ほど。観光客は誰もいなかった。我々二人だけ。



鍋の前でもくもくと天ぷら揚げてます。 380円。素朴な味でうまい。

2度目の宇和島だったけど満喫した。本当は民宿に泊まって釣れたばかりの鯖やアジを肴に、宿のオヤジと酌み交わしたら楽しいだろうと思う。

今治のしまなみ海道や、松山の道後温泉。「坂の上の雲」の舞台、三津浜。大江健三郎の故郷、内子町。

愛媛＝伊予はのんびりと暮しやすい場所がたくさんあるのだと再認識した。また行きます、宇和島。